

統計セミナー 2020

「統計セミナー 2020」は、2020年2月21日（金）にベルサール神保町（東京都千代田区）において開催された。昨年以前において、本セミナーは（一財）日本統計協会と（公財）統計情報研究開発センターの主催により、それぞれ別々に開催されていたが、2020年は1920年の第1回国勢調査から100周年を迎えるということで、「国勢調査100周年—社会の基盤情報として これまでも これからも—」と題して、両機関合同の主催により開催された。新型コロナウイルスの感染拡大に伴うイベント等の自粛ムードが高まる直前に開催されたこともあり、会場は百数十名の参加者で満席となった。当日のプログラムは下記のとおりである。

1. 加藤久和（明治大学）「人口減少時代と社会経済の課題を考える」
2. 小池司朗（国立社会保障・人口問題研究所）「地域人口統計の分析活用例と将来の地域人口見通し」
3. 千野雅人（総務省）「なぜ我々は「国勢調査」を行うのか？」
4. 阿向泰二郎（総務省統計局）「令和2年国勢調査の実施に向けて」

ウイルス感染拡大の影響は大いに心配されるところであるが、2020年の国勢調査が円滑に実施されることを願ってやまない。

（小池司朗 記）

COVID-19の世界的蔓延による人口関係学会への影響

2019年12月に中国武漢市で発生したとされる「COVID-19（新型コロナウイルス）」は、4月22日時点で日本国内を含め世界で256万人が感染し、18万人が死亡するまでに拡大している¹⁾。現時点で「COVID-19」による感染者数の推移や社会、経済への影響を正確に見通すことはできないが、1918～1920年にかけて世界で5億人が感染し推計で4,000万～1億人が死亡したとされる「スペイン風邪」²⁾ 以来の歴史的な感染症の蔓延となる可能性が高い。ここでは、「COVID-19」の感染拡大を受けた国内外の人口に関連する各学会の対応について、2020年4月22日時点の状況を記録することとした（表1）。

現在、各国で感染拡大とそれに伴う医療提供水準の低下を防止するために、外出や移動の制限や自粛要請、海外渡航の制限が多く行われているが、「COVID-19」の特性が未解明であることなどから、影響の長期化も懸念されている。そのため、2020年11月に開催予定となっていたアジア人口学会のように早々に延期を決定しているケースなどもある。また、2000年代以降急速に発展してきたインターネットをはじめとするITを活用し、オンライン開催などにシフトしている学会もある。このように、「COVID-19」は社会、経済への影響のみならず、研究活動の発表の場にも影響を与えつつある。なお、最新の情報は各学会のホームページなどを参照していただきたい。

1) ジョンス・ホプキンス大学「Corona Virus Resource Center」(<https://coronavirus.jhu.edu/>)

2) 浜野潔（2010）「スペイン風邪」、『現代人口辞典』，原書房，p.176

表1 「COVID-19」の感染拡大を受けた各学会の対応状況（2020年4月22日現在）

・国内

学会名	今後の予定	開催予定期日	開催地	備考
日本地理学会2020年春季学術大会	中止	2020年3月27～29日	駒澤大学 (東京都世田谷区)	公表される発表要旨集およびJ-STAGE上での発表要旨の公開をもって、当該の発表を成立したものとする。
社会政策学会第140回大会	中止 (開催方法変更)	2020年5月23～24日	東京都立大学 (東京都八王子市)	実際の学会は開催しないが、1) 共通論題は「オンライン形式での開催」に変更。2) テーマ別分科会および自由論題は「ホームページ上での報告フルペーパー掲載」による開催。3) 総会は秋に予定の大会に変更。教育セッションは中止などの変更。
日本アフリカ学会第57回学術大会	オンライン開催	2020年5月23～24日	東京外国語大学 (東京都府中市)	総会をはじめ、「Zoom」を利用した形式に変更となった。
経済地理学会第67回大会	延期 (延期日未定)	2020年5月29～31日	成蹊大学 (東京都武蔵野市)	
日本老年社会学会第62回大会	中止 (開催方法変更)	2020年6月6～7日	北星学園大学 (北海道札幌市)	実際の学会は開催せずに、開催方法を「誌上発表」に変更。例年の学会では報告者は実際に報告（口頭又はポスター）を行うとともに、その抄録は学会誌である『老年社会科学』に掲載される。今回は新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない状況を鑑み、『老年社会科学』（42巻2号）に抄録を掲載することで学会報告を行ったとみなすことに決定。
日本人口学会第72回大会	延期 (2020年11月14～15日)	2020年6月13～14日	埼玉大学 (埼玉県さいたま市)	詳細は今後の理事会で決定される予定。
日本国際保健医療学会	オンライン開催 (同日)	2020年11月1～3日	大阪大学 (大阪府吹田市)	グローバルヘルス合同学会2020として、日本熱帯医学会、日本渡航医学会、国際臨床医学会と共同開催されることになっており、少なくとも日本国際保健医療学会について同じ日程でオンライン開催されることが理事会決定された。韓国・台湾を接続して新型コロナ対策に関するシンポジウムなどの企画が進められる模様である。

・海外

国連人口開発委員会 (Commission on Population and Development)	延期	2020年3月30 日～4月3日	国連本部 (アメリカ ニューヨーク)	3月6日に短縮開催とされたが、3月13日に延期が通知された。ニューヨーク、とりわけ国連本部での感染拡大が3月に入って急展開し、短期間の間に短縮開催から延期へと決定が進んだ。
アメリカ人口学会 (The Population Association of America's annual meeting)	中止 (開催方法変更)	2020年4月22 ～25日	Washington Marriott Wardman Park (アメリカ ワシントン)	当初の開催期間にオンライン形式で意見交換の場が設定された。
ヨーロッパ人口学会 (European Population Conference 2020)	中止	2020年6月24 ～27日	FIERA DI PADOVA (イタリア パドバ)	2021年の春に初期のキャリア研究者 (PhDおよび Postdocs) を対象とした小規模な発表の場を設けることを模索している。
HelpAge アジア太平洋 高齢者地域会合	延期 (2021年)	2020年9月 7～9日	(マレーシア クアラル ンプール)	
アジア人口学会 (The 5th Asian Population Association Conference)	延期 (2021年)	2020年11月24 ～27日	Royal Ambarrukmo hotel (インドネシア ジョ グジャカルタ)	要旨の審査は継続し、結果の発表は当初の予定より時間がかかる。

(貴志匡博 記)